

地質ニュース

昭和38年12月

第112号

1963

特集	最近における日本のウラン鉱床 ……………小 関 幸 治… 1
	岐阜県土岐市に発見 …………… 林 昇 一 郎 … 8
	されたウラン鉱床 …………… 小 尾 五 明 … 8
	鹿児島県垂水市大野原高原のウラン …………… 浜 地 忠 男…11
トピック	エカフエ「地化学探査セミナーに出席して」…本 島 公 司…15
	水石展をみて……………仙台駐在員事務所…25
	山の地形と地質……………黒 田 和 男…29
	現地における粘土鉱物の迅速分析について…山 田 貞 子…36
講座	空中写真地質講座 ⑤……………松 野 久 也…38
地学漫筆	我 田 引 水 ⑤……………くらた・のぶお…43
	地学と切手……………堀 内 恵 彦…42

編 集 地質調査所

表紙の写真

笹 目 石 (茨城県久慈郡町屋産)

本邦の超塩基性岩類には 成因論的にみて二つの型があるとされている
日高型と笹目型である 写真の岩石は文字のとおり 笹目型に属するもの
で俗に笹石 竹葉石 町屋石とも呼ばれ 裝飾 石材として知られている
肉眼的に 黒色の柱状~板状の笹の葉の形をした部分が多量に散点するところ
からこの名がある この黒色の部分は蛇紋石化したかんらん石からなる
写真でも その中に粒状に白く光ってみえるのがかんらん石の残晶で 細かい
黒色の粒は蛇紋石化するとき散出された磁鉄鉱である 基地の部分は 普通
淡い緑灰色の絹布石化した斜方輝石を主とするが ここでは そのほとんどが
滑石となっており わずかに透角閃石がみられる この中の不定形のやや大
きな黒色粒はクローム鉄鉱(SP)

日本光学万能投影器 十字ニコル (約15倍)

発行 株式会社 実業公報社